

来トーク

川西地区区長会と川西未来づくりの会

テーマ「高齢化社会における公共交通」

1月25日、第1弾として、川西地区区長会と川西未来づくりの会の方々にお申し込みをいただき、川西コミュニティセンターにてばんげ未来トークを開催しました。

まず現状をお聞きし、何が課題になっているのか、問題点はどこにあるのかお聞きしました。

【川西地区の現状と課題】

- 川西地区は、高齢化率64%であり、運転免許証を返納すると出歩かなくなり、フレイル化につながるものが心配される。
- 現在バスは、袋原⇄坂下町内間が学校への通学のある日は4便あるが、学校の休みの日は1便しか運航していない。坂下までの交通手段が心配である。
- 公共交通が不便だと若い世代が移転してしまうので集落維持が心配である。



【議会の対応】

お話を伺い、利便性の高い公共交通を実現するために、現状の法律（規制）がどのようなになっているのかをまず把握する必要があります。

その上で、どのような公共交通のあり方が会津坂下町にとって理想的なのかを今後研究していく必要があると感じました。

担当である総務産業建設常任委員会の中で、町へ提言できるよう検討を重ねていきます。

【参加された皆さんから出た意見】

- 生活しやすい公共交通を。
- 公共バスを通学時の朝晩のみとし、その他に新たな運行を検討できないか。
- 病院独自の送迎ができないか。
- 法律の壁があるが、福祉施設の車両の有効利用はできないか。
- 退職された2種免許保有者にご協力をいただけないか。



川西みらい
づくりの会
会長
永山 宏一さん

私は長井在住の今年67歳、妻と二人暮らします。将来の運転免許証返納を意識すると、生活の不便さと行動範囲の縮小が心配です。地域の急速な高齢化に対し、地域・議会・町が危機感を共有し、一緒に対策を考えていくことを願います。未来トークの持ち方には、敷居を低くする工夫が必要と感じました。

初めて「未来トーク（議員懇談会）」に参加しました。

近年、全国的に進む少子高齢化ですが、坂下町も例外ではなくますます加速しています。

高齢者の交通事故防止対策として「免許返納」がありますが、会津坂下町は都市部に比べ「交通空白・不便」地域が多く、返納後の不安から「返納したくても返納できない」ことが問題なのではないでしょうか。今回、近い将来に起こりうるであろう課題に対して、議会議員と地域住民が情報を共有できたことは大変有意義なことだと思います。



前川西地区
区長会
会長
唐司 新一さん

令和7年度も引き続き開催していきますので、ぜひお問い合わせください。

～ばんげの未来を
町民のみなさんと
一緒に考える～

ばんげ未来

ばんげ未来トークとは…

これまでの経緯

議会では平成21年度に議会報告会を初めて開催し、地域住民と意見や情報を交換し、町民の多様な意見を反映させる取り組みを始めました。

その後、町民議会懇談会と名前を変え開催してきましたが、なかなか参加者は増えず、どうすれば参加していただけるのか、意見をお聞きできるのかを検討してきました。

そうして平成29年度より始まったのが、ばんげ未来トークです。それまでの参加募集型から、町民からの要請に応えどこへでも議員が出向く議員派遣型へ実施方法を変更しました。毎年多くの団体からの依頼を受け、意見を伺う事ができました。そこで出た意見をまとめ、町長に提言書を提出したり、平成30年度には、町民から出された意見を「議会を代表しての一般質問」として執行部にぶつけたりしてきました。

令和2年から3年度はコロナ禍により開催できませんでした。令和4年度から段階的に開催してきました。

コロナ禍前までの経緯

年度	参加者数	特徴的な出来事
平成 21 年	129 名	初めての議会報告会
平成 22 年	126 名	「町民・議会懇談会」へ名称を変更
平成 23 年	98 名	
平成 24 年	74 名	
平成 25 年	50 名	パネルディスカッション方式
平成 26 年	57 名	
平成 27 年	102 名	
平成 28 年	45 名	基調講演と意見交換会の2部制を導入
平成 29 年	112 名	ばんげ未来トークへ変更
平成 30 年	113 名	
令和元年	87 名	

再始動

令和6年度に議員の改選を迎え、改めて町民の皆さんの声を聞き、多様な意見を反映させる方法を検討してきました。どうしたらより多くの声を集められるか、集まった声をどうしたら政策に反映させていけるのか。

まずは、ばんげの明るい未来を皆さんと一緒に語りたいという思いから、ばんげ未来トークを再始動することになりました。

ばんげ未来トーク 派遣依頼募集

私たちと一緒に「ばんげの明るい未来」について語り合いませんか？

皆さんが日ごろ感じていることを、お聞かせください！



◎申込方法◎

実施希望日の3週間前までに、議会事務局へお申し込みください。

詳しくはこちらで

ご確認ください⇒⇒

まずはお問い合わせ
ください！



【問い合わせ・申し込み先】

会津坂下町議会事務局 ☎ 84 - 1507



ばんげの「いい顔」みつけた！

今回は、坂下地区地域づくり協議会地域振興部会で行われている「竹あかり」を広報広聴特別委員の物江政博が取材しました。



役場庁舎前のイルミネーション



坂下地区地域づくり協議会地域振興部会では、毎年「竹あかり」を作製し、出来上がった作品を年末から年明けまで役場前で飾っています。

竹あかりを飾る前は、イルミネーションを飾っていましたが、竹あかりから感じられる“和”を坂下地区でも広められたら良いなという思いで、米沢市を拠点に活動している“夢プロジェクト『竹あかり×ゆき×祈り』”さんに一から教えていただきました。

また、毎年、竹あかりのデザイン画を会津短大デザイン情報コースプロダクトゼミの学生さんに、竹は、町民の方に提供してもらっています。

竹あかりを始めて数年ということもあり、毎回試行錯誤しながら部会のメンバーと夜な夜な楽しく作業をしています。

今後も無理のない範囲で作製しながら、数年後には「凄っ!」と思ってもらえる作品を飾りたいと思います。



編集後記

一斉に咲く姿から、「繁栄」や「豊かさ」の花言葉とする桜。

令和7年3月31日、この日に坂下町在住の方ならほとんどの方が知っている「杉の糸桜」を見してきました。今年2月に、会津地方を襲った豪雪は、我々人間だけでなく、この地に生存する樹木にも大きな影響があったのではないのでしょうか。「杉の糸桜」の樹齢は推定二百年といわれています。今年も例年の通り、我々の心を和ませる桜が満開になる事を祈っています。
(物江政博)



広報広聴特別委員会

委員長 山口 享
副委員長 目黒 克博
委員 五十嵐 孝子
委員 物江 政博
委員 佐藤 宗太